

日本水環境学会年会講演集原稿執筆例（中央揃え、大きな活字あるいはゴシック体）

（著者情報は右寄せ）日本水環大学理工学部 ○琵琶 湖太郎、水 澄志*
水環技術研究所 京 華子、水環市環境課 霞 清美
* xxxx@xxxx

An Example of the Manuscript for the Proceedings of the Annual Conference of JSWE, by Kotaro BIWA, Sumashi MIZU (Dept. of Sci. & Eng. /Nihonmizukan Univ.), Hanako KYO(Mizukan Tec.), Kiyomi KASUMI(Mizukan-Shi) （英文タイトル、英文著者情報は左寄せ）

1. はじめに

5. 結論

【文字 9～10 ポイント、原則として明朝体】
【2段組段間余白 5mm 程度】

発表タイトルは以下のように記載してください。

- 1) 中央揃えで記載。
- 2) 大きなフォントあるいはゴシック体
- 3) 複数行に渡る場合は改行位置と改行幅を調整することをお勧めします。

2. 実験方法

【図表 右段】

英文情報は以下のように記載してください。

- 1) 左寄せで記載、タイトルの後にbyをつけて著者情報を続けて記載
- 2) 所属は氏名の後に括弧書きで記載
- 3) 同じ所属が続く場合は、その最後の著者の後にみに所属を記載

表1 実験条件

和文著者情報は以下のように記載してください。

- 1) 右寄せで記載、発表者が多い場合は所属ごとの改行をせず、続けて記入
- 2) 氏名の前に所属を記載
- 3) 登壇者の氏名の前に○を記載
- 4) 同じ所属が続く場合は、その最初の著者の前にみに所属を記載
- 5) 責任著者の氏名の後ろに*を記載

3. 実験結果

図1 実験結果(1)

4. 考察

図2 実験結果(2)

参考文献